

熊野町のいしぶみとたぐね 第14回

～ 松浦数人翁頌徳碑 ～



大きさ 縦：285cm、横：247cm
碑文(表) 松浦数人翁頌徳碑
(裏) 昭和五十年二月吉日 建之



▲縦：157cm、横：197cm

「松浦数人翁頌徳碑」

矢野峠（平谷地区）には松浦数人氏の碑があります。

氏は明治三十四年熊野町井上友太郎氏の三男として、生まれ長じて呉市栃原町松浦家に入籍、資性洵に誠実温且厳果断実行の人物にして昭和六年、弱冠二十九才昭和村会議員に初当選同廿一年昭和村村

長となり後推されて安芸郡町村会会長を勤め更に広島県議会議員に連続六期当選し政界に在ること実に四十有余年その間大衆庶民と俱に歩む政治家として汎く慈父の如く敬慕せらるる県会議員在任中は副議長、経済常任委員長、決算並公害対策特別委員長を歴任他に在りては広島県農業会議会長、畜産農協連合会会長の要職に在り、特に戦後食糧政策並に農政に就いては敏腕を振るい就中県営団地を誘致建設に当っては政治生命を賭して尽力せられその功績や実に大なりといわれています。昭和四十八年十月逝去され多年に亘る功績に対し昭和三十五年藍綬褒賞、更に同四十七年従五位勲三等、同四十八年正五位を賜る茲に有志諸彦の賛同を得頌徳碑を建立し永くその得を偲び功を讃えんとされています。

取材／民法・時光・片川・沖田
熊野町郷土史研究会
熊野町の碑文より

沖田ゆかり議員

Q 町民会館のトイレを洋式に

A 平成27年度施工に向けて検討していく。(藤森教育部長)

高齢者の利用も多く洋式トイレに改修を要望する声が多数あり、平成24年の9月議会においても質問したが、その後どのように検討を行なったのか。

町民会館は、平成24年度に講堂横のトイレを洋式化に改修したが、平成24年度、町民会館舞台音響設備改修工事、平成25年度、町民体育館改修工事、平成26年度、町民会館舞台照明改修工事等、各施設重要度の高い工事を優先して行っており、現時点では町民会館内のその他のトイレ改修には至っていない。しかし、施設利用者から洋式トイレを要望する声も多く聞いており、館内の利用頻度の高いトイレから順次洋式化に改修することを考えている。

また、町民会館は、乳幼児とともに利用される方も多く、1階多目的トイレ内に赤ちゃんのおむつ替え用のベビシートやベビーカーの設置も必要と考えている。

産業建設委員会

7月28日、29日の2日間、福井県おおい町にある「道の駅うみんぴあ大飯」及び京都府南丹市にある「道の駅京都新光悦村」を訪れ、道の新設を行なった。



▲道の駅 京都新光悦村での研修

研修では、地元の農産物や特産品の直売機能や観光案内機能を持った道の駅を整備することで集客を図り、賑わいを創出し、地域産業の振興と活性化に繋げる手法等について学んだ。

文教委員会

8月18日、19日の2日間、大分県豊後高田市及び熊本県益城町を訪れ、道の新設を行なった。



▲豊後高田市での研修

大分県豊後高田市では、子どもたちに学力の定着や体力づくりの機会の提供を目的に開塾されている「学びの21世紀塾」について、また、熊本県益城町では、教育の質の向上を目的に全国で初めて導入した「教育クラウド」について研修を行った。

広島県町議会研修会

8月22日「広島県町議会議員研修会」が開催され、多数の議員が参加した。



▲岡田知弘氏による講演

京都大学大学院経済学研究所教授の岡田知弘氏による「道州制論・自治体消滅論に対抗して、いかに地域を再生するかについて」。

また午後からは、政治家ジャーナリストの泉弘氏による「改造、北朝鮮、消費税：順風安倍政権も秋は正念場」について講演を受けた。